



四万十川と田んぼと国道、それに家々の連なりがほぼ平行な形の地区。4班に分かれていますが、区長は1人で45戸の集落。東の方の高台まで行くのと田んぼが広がって、その形たるや蒲鉾の上にあるように思えてならない。「どうやって用水を確保するの?」「この地区には3つのため池があつて、うまい事できちよらよ」作付けは全体で15町歩程になるといふ。米所である。

ここの猪は跳躍力が強いらしい。六谷を上るとそこにも整備されたほ場があるが、猪柵は必需品。でも柵の高さが普通ではない。一般の柵の約2倍ある。

家地川堰堤で塞き止められた水は穏やかにダム湖へ続き、ここ秋丸地区に来て初めて瀬が現れる。ダム湖で戯れていた鮎がその瀬で縄張りを持ち、また餌場として藻を食べる。友掛け漁には絶好の場所ではないだろうか。実際「小松」といふ瀬は、有名な友掛けのボ



秋丸神社の手摺

地区名と氏神様の名前が同じ。秋丸地区の秋丸神社である。長い石段には手すりがない。設けられており、拝殿には「青葉茂れる桜井の・・・」と唱歌にもある桜井の別れの場面が描かれた楠木正成の絵馬が、明治の時代に掛けられている。

嫁をとりたい若いしも何人かある。金封入れの水引の色には赤と黒があるが、高齢化社会での現状では、黒を使う方が多くなるのはいたしかたない。鶴は千年、亀は万年。祝い唄にも「鶴と亀とが舞い遊ぶ」とある。実はこの地にお嫁に来た亀子さんという方がいて、その旦那様のお姉さんは鶴子さんだといふ。迎春が寿ぎます。

大樹の南天もある。床柱になるうかと思われる程の太さで、ご主人の言うには相当に年が入っているとのこと。南天は難を転ずるともいわれ、赤色に鶴と亀、難が転じて幸せな年でありますように・・・。



大樹の南天

町のうごき	11月30日)			11月中の届出)				適正值(mg/L)	11月15日	
	人口	前月比		出生	死亡	転入	転出			
男	9,165	-1	男	4	13	17	9	リン酸	5.0	0.324
女	10,238	-10	女	4	15	12	11	硝酸	0.5	2.734
計	19,403	-11	計	8	28	29	20	アンモニウム	5.0	測定値以下
世帯数	8,795	-6						アニオン活性剤	1.0	0.700
								化学的酸素消費量	10.0	4.627

四万十川の水質状況

四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)

調査：大正(吾川)
資料：四万十高校自然環境部